

伊豆市総合事業第1号通所事業（サービスA）

土肥ホーム いきいきクラブ

一日の流れ

- 9:00 各送迎場所に迎え
- 9:55 健康チェック・お茶会
- 10:30 体操・レクリエーション・頭の体操
- 11:30 昼食準備
- 12:00 昼食
- 13:30 体操・レクリエーション・歌
- 14:30 お茶会
- 15:00 各送迎場所に送り

利用対象者

- ・総合事業対象者及び
要支援1、2の認定を受けて
いる方

こんにちは。土肥ホームいきいきクラブです。以前は、伊豆市の委託で「元気はつらつ事業」として土肥支所で行っていましたが、平成27年4月に伊豆市総合事業の開始に伴い、通所事業サービスAとして土肥ホーム敷地内で行っています。「いきいきクラブ」と名称を変え、現在12名の方にご利用頂いております。

では、どんな事をしているのかご紹介します。まず、プログラム内容は、介護予防を目的とした体操・レクリエーション・行事を行っています。体操やレクリエーションがなぜ介護予防なのか？それは、ただ遊んだり、体を動かしたりしているだけではなく、お手玉やボールなど色々な道具を使い、筋肉や脳に意図的に刺激をあたえることを目的としたゲームや体操を行っています。それを習慣的に行うことで効果的な心身機能の維持・向上につながり、認知症予防の効果にも期待がもてるからです。また、管理栄養士がメニューを考えた食事を提供しており、美味しい食事を食べる楽しみがあり、バランスの良い食事を食べることで認知症予防にもなります。嚥下低下防止の為に歌を歌うことや、食べる為に必要な筋肉トレーニングを行い、ムセや誤嚥をする事なく美味しい食事ができる様な支援をしています。

行事では、春は花見、夏は力合戦、秋には紅葉、冬は初詣、季節毎の楽しみを提供し、社会参加を促し閉じこもり防止にもなっています。

ご利用者の皆さんより「ここは楽しい、次に来る日が待ち遠しい」「足の指が広がる様になって、つまずいても転ばず足が出る様になった」と声を頂き、実際に効果も現れています。いつまでも元気で住み慣れた地域で暮らしていく様な支援を心がけ提供しています。



斎藤 淳

ご利用者が楽しく過ごせるよう支援していきたいです。



荒川ゆかり

皆さんが楽しく元気で、ご利用頂ける様なプログラムを考え、笑顔でがんばります。

プログラムの様子



体操をすると
その日の夜は
ぐっすり寝れる
からいいよ～



いきいきクラブ
に来るのが
楽しみだよ！

平成28年度事業計画

土肥・戸田地区の人口減少と高齢化によるご利用者の減少と同時に担い手である人材確保の問題を踏まえ、安定的な経営及びご利用者のニーズに合致した運営を目指していきます。今後の制度改正及び人口減少・担い手不足に対応できる体制を各サービスや各部門、戸田デイサービスも含め見直しを行い、より柔軟かつ効率的な体制を構築し、安定した運営を目指していきます。また同時に、人材育成と職場環境の整備を行っていきます。

施設サービスでは、待機者の減少に対する対策を講ずるとともに、老朽化する建物設備の更新によるご利用者の生活環境の改善、ケアプランに沿ったサービス提供と記録の充実を図りサービスの質の向上に繋げていきます。また近々の課題として、安定した食事提供体制を構築していく予定です。

在宅サービスにおいては、サービスの質の向上とともに、総合事業を踏まえご利用者等のニーズにあつた事業展開を行っていきます。

この地域で安心して生活できるよう、社会福祉法人に求められる社会貢献も念頭に置き、地域包括支援センターとも連携をし、地域包括ケアの構築に向けた取り組みを継続していきます。そのためには地域やご利用者のニーズ把握に努め、地域の特色に即したサービスを創出していく予定です。

今後も皆様にはご理解、ご協力をお願ひ致します。

土肥ホーム 機器長 戸田デイサービスセンターセンター長 木下 高次

質問① 福祉の仕事をするきっかけは何でしたか？

私は大学在学中から長年の趣味が高じて某出版社で業界新聞の編集に携わってきましたが、平成11年に地元である土肥へ戻ってきました。その際に縁があつたのが福祉の仕事であり、土肥ホームでした。大学では福祉専攻課程もありましたが、違う課程を履修したため、まったく知識のない状態で就職し、働きながら勉強することになりました。当時はさほど深く考えずに、勢いだけで飛び込んでしまったという感じでしたが、今でも福祉の仕事を続けられていることを考えると、意外とあついているのかかもしれませんね。

質問② 「相談業務」の仕事をしていて良かった事は

何ですか？

就職後は土肥と戸田の在宅部門で働きながら、今年の1月から入所部門へ異動し、生活相談員として働いています。ご家族様からは、家では介護できないので、せめて自宅の近くの土肥ホームで暮らしたい、とのご相談を受けることがあります。地元が好きで、地元に戻った私が、地元で暮らしたいとの皆様のご相談に関わることに感謝し、これからも頑張っていきたいと思います。

質問③ 土肥・戸田で仕事をされてきましたが地元土肥に

対する熱い想いを教えて下さい。

私が地元に戻ったきっかけは転職でしたが、理由の一つには趣味の釣りが身近にできる環境がありました。家から数十分で釣りに行けて、ちょっととした空き時間にも釣りができる。尚且、職場にも近いという最高の環境です。地元で暮らしていると、顔馴染みの方々も多く、何かと助けられることもあります。これからも土肥ホームでの業務も含めて、少しでも地元に貢献し、地元で暮らしていきたいと思っています。

植松 誉

土肥ホーム

平成11年11月入社

土肥ホームの星



第2回研修報告

平成28年2月7日（日）生活支援技術研修会に参加してきました。研修には講師に筑波大学名誉教授紙屋克子先生を招き、土肥ホームにて研修を行いました。

研修の内容は、講義「ナーシングメカニクスに基づく

生活支援技術とは—理論と実践—」の後、ほぼ1日演習を行いました。演習の内容としては、ご利用者の安樂を目的とした技術、寝たきりからの早期離床、生活自立の促進、筋力低下の防止、バランスボールを活用したエクササイズ、スライディングシートの活用方法、介護負担の軽減など、ご利用者の自立の促進と介護負担の軽減を目的とした研修でした。

中でもバランスボールを活用したエクササイズでは、ご利用者への負担が少なく、しかもリハビリの効果があり、バランスボールの使用方法によっては、腸の働きを促し、便秘が解消される。またスライディングシートの活用方法では今まで私たちが使用してきた方法に加え、新たな使用方法を教えていただきました。

今回の研修を受け、私たち特養で働く者として、得る物が多く、とても参考になりました。今後ご利用者がより自立した生活が送れるよう、また介護する側としても今回の研修を活かし、介護の負担軽減が図れれば、と思っています。

特養 大石 亮太郎



日常のひとこま

戸田デイサービス

～クラフト編～ Part 2

月刊DAY
作品コンテスト
入賞



神輿～戸田バージョン～

私は神輿の屋根と土台を作りました。毎日毎日金色の折り紙を貼り、一枚一枚隙間がでないように丁寧に貼りました。やはり・・・綺麗に貼るコツは隙間が出ないようになります。大きなダンボールだったので、やりがいがあり貼っている時には夢中で時間を忘れていました。もう94歳になりますが、次の作品も頑張ってやります。今回はほんとに嬉しかった。



何で高足ガニ・・・？

神輿の飾りは何が良いですか？の職員の質問に対して、あるご利用者より「戸田の名物高足ガニが良い」との声がありました。この声がきっかけで皆様が賛同して決まりました。本物の高足ガニの甲羅を使用していることが一つの魅力です。



長島うめ様

新人紹介

主婦デイサービス



介護職員

高橋 明子

今までの仕事と全く違う、緊張の連続の日々です。早くご利用者の顔と名前を覚え、お役に立てる様に頑張りたいと思います。

特養



看護職員

新村 泰宏

こんにちは。私は安心して安全に食事ができる様に日々学ぶようにしています。ご利用者が安全に食事をし笑顔が見られる様、援助に勤めたいと思います。

土肥ホーム厨房



調理職員

大川 郁代

初めての仕事で厨房のスタッフの方々にわからない事を聞きながら、早く仕事を覚えていきたいと思います。よろしくお願ひします。

特養



介護職員

氏原 久美

入職したばかりですが、仕事を少しずつ覚えていき、ご利用者と毎日楽しく過ごしていきたいです。これから宜しくお願ひします。

サポート



労務員

佐藤 公也

先輩方にいろいろ教えてもらい、ご利用者が快適で楽しむことができるよう努力していきたいと思います。よろしくお願ひいたします。

戸田デイサービス



介護職員

小浦 裕子

「ここに来ると元気をもらえる」と言われるよう明るく元気にいつも笑顔で頑張っていきたいと思います。よろしくお願ひします。

菜の花ホーム



介護職員

山田 富江

グループホームでの仕事は初めてですが、皆様に支えていただきながら日々、奮闘しています。よろしくお願ひいたします。

菜の花ホーム



介護職員

山田 節子

戦争という苛酷な時代を生き抜いた人達に、寄り添いながら仕事が出来る事が嬉しいです。温かい職場にも感謝しております。

介護あれこれ 第7回 福祉車両編

今回は福祉車両の紹介をします。

歩けなくなったら、デイサービスには行くことができないのかという質問をよく聞きます。歩けなくなったら外出することが難しいと思っている方もいるのではないでしょうか。歩けないと、車に乗ることは大変ですよね。土肥ホームのショートステイやデイサービス、戸田デイサービスではそうした方にどのような対応をしているのでしょうか？車椅子に乗っている人は土肥ホームや戸田デイサービスに来ていないのでしょうか？そんなことはありません。車椅子に乗っていてもデイサービスやショートステイに来ることができます。それは車椅子に乗ったまま車に乗ることができます。だから歩くことが大変になつても安全に外出することが出来るわけです。

車椅子ごと乗れるタイプ

リフト式



スロープ式



電動式のリフトが搭載されたタイプです。左の車両は車椅子が2台乗ります。また車椅子の替わりに寝台（ストレッチャー）に寝たまま乗降が行える車両です。右の車両は車椅子が1台乗ります。両方とも座席があるので、自分で昇降できる方も利用しています。

スロープを使って乗り込むタイプです。手動でスロープの出し入れをします。

今回は土肥ホーム・戸田デイサービスで使用している福祉車両の一部を紹介しました。今回紹介した車両以外にも車椅子が乗る車両があります。送迎前の確認としておこなっている事ですが、車椅子の形態によって使用できる車両が異なるので、使用する車椅子に合った車両を選ぶことから始めています。

最後に、ご利用者が乗る福祉車両を運転する職員がどのような心構えで、どんなことに注意しながらご利用者の送迎をしているのか紹介します。

車椅子が車両に乗り込んだ後、しっかりと車椅子が固定されて車両内に格納されているか、またシートベルトは着用できているか、車椅子のブレーキがかかっているか確認してから走行を開始します。車椅子は走行中、揺れが大きいので道路の段差やカーブ等に気をつけてゆっくりと運転しています。状況により、車椅子のステップに足が乗っているか、ご利用者の顔色はどうなのかバックミラーで確認をしています。降車時においても、周りの道路状況に応じて、注意しながらゆっくりと移動しています。

土肥デイサービス 及川博司

直接車のシートに座るタイプ



車へ乗降が大変な方が利用している車両です。助手席が外側に回転し、乗り降りしやすい位置まで下がります。

- 車椅子車両の運転では、通常の座席と違うという認識を常に持ち、路面上状況等に配慮しながら、加速・減速の際にも極力振動がないように運転をしています。また、車椅子の固定が緩いと転落の事故にもつながるため、乗車した際の確認にも注意を払っています。「安心できる送迎」を心掛けています。
- 土肥ショートステイ 新谷裕生

- 送迎の時に一番大切にしていることは安全運転です。
- 走行中にバックミラーでご利用者の様子を確認しながら声をかけるようにしています。ご利用者の昇降時には、身体の状態に合わせた足台の準備、ドアなどで手を挟まないよう気をつけています。

戸田デイサービス 深水久美子

編集後記

日もだいぶ延びて暖かい時期になりましたね。

新年度がいよいよ始まりました。みなさんは新年度の目標は何か立てましたか？私の新年度の目標は体力作りと趣味を増やす事です。介護の現場は体力勝負です。ウォーキングやランニングをして身体を鍛えたいと思います。みなさんも、何か目標を立てみてはいかがでしょう。

村田 夕夏

